



アニメを見てくれた みなさんへ

うみのみんわ 海の民話アニメーションは楽しんでいただけたでしょうか。

ここからは、みなさんがお話を考える作者になって

「この先、どんなお話になるかな？」と自由に考えてみましょう。

絵にしてもいいし、文章でも大丈夫。

自分の想いをのせて、物語の続きを作ってみてください。

特に良い作品には賞状と記念品をプレゼント！

たくさんのステキな作品を待っています！

アニメはここから
見られるよ



募集内容

アニメを見て考えた

お話の続き（文章や絵）

応募資格

海ノ民話のまち

2025年度地域の小学生

応募締切

2026年2月28日

（土）必着

審査員



飯倉 義之 先生

国学院大学 文学部 日本文学科 教授

みんなで
新しい民話を
作って楽しもう！

応募詳細は裏面を

ご覧ください

保護者の方へ

◆応募方法

応募用紙に作品内容・お名前・学年・学校名を記入し、個人または、各小学校で取りまとめの上、以下の所在地までご郵送ください。

郵送先：〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-4 森崎ビル3階
海ノ民話のまちプロジェクト事務局

応募締切：2026年2月28日（土）必着

◆結果発表

2026年3月下旬に、海ノ民話のまち実行委員会を通じて学校に通知します。
受賞作品は公式ホームページやSNS等でも紹介させていただきますので、
予めご了承ください。

◆注意事項

- ・応募作品は、本人が創作したものに限りします。
- ・応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、主催者は広報・教育活動等の目的で作品を無償で利用（掲載・展示）できるものとします。
- ・応募作品は返却いたしません。

◆主催・お問い合わせ

一般社団法人日本昔ばなし協会 海ノ民話のまちプロジェクト事務局
E-mail: minwa-staff@umi-nippon.com

◆応募作品例

あなたが見た「海ノ民話アニメーション」のタイトルをおしえてください。

ムイとアワビの合戦

「海ノ民話アニメーション」の続きを書いてください。

ムイとアワビが仲良くなつた。ムイが食べている昆布が「なんでいつも僕たちを食べるんだ！もうガマンできない合戦だ！」といいました。すると、ムイは「勝てるものなら勝てみろ！」と戦いが始まりました。それを見ていたアワビは、どこも言っていることはわかるけど戦ってほめたストロップだ。と合戦を止めましたが、あつさい。ムイにも昆布にも言われてしまいました。それ（そこ）のセリフは「ムイも昆布も倒れてくれる」と、アワビも合戦に参戦の予定でしたが、それを見た神様は、みんなの争いをやめなさい。と雷が落ちて大きな音でなりました。みんなはびっくりして静になりました。神様は笑います。アワビ、おれ全員にさっしとお話をそれそれから教へよう。作られた。この出来事をきかずにムイとアワビは昆布はいつまでもよく食べたいです。 あ（ま）い

この続きのお話を考えた理由をおしえてください。

戦国時代のことが好きで、合戦という言葉に惹かれたから。

● ● 小学校 ☐ 年 ☐ 組 名前 ○ ○ ○ ○

あなたが見た「海ノ民話アニメーション」のタイトルをおしえてください。

ムイとアワビの合戦

「海ノ民話アニメーション」の続きを絵に書いてみましょう。



この続きのお話を考えた理由をおしえてください。

戦国時代のことが好きで、合戦という言葉に惹かれたから。

● ● 小学校 ☐ 年 ☐ 組 名前 ○ ○ ○ ○